地域コーディネーターによる事例発表

当別高校 地域コーディネーター 松岡宏尚

目次

1. 自己紹介
2. 当別高校CLASSプロジェクトの概略
3. 地域コーディネーターとしての取組状況
4. 取組みの成果と課題
5. 今後取り組みたい内容

1.自己紹介

名　　前：松岡 宏尚（まつおか ひろたか）
生年月日：1987年11月19日生まれ（34歳）
　　生まれ・育ち 当別町

就職で6年間当別を離れ、28歳で当別町に。
2015年　有限会社松岡商事 入社（現：専務取締役）
2016年　ベジフリークス合同会社 設立（代表社員）

2016年～　地域活動を開始。
現在：（一社）当別青年会議所 理事長、当別町商工会青年部 理事、当別町観光協会 理事
　　当別コミュニティ・スクール（学校運営協議会）委員、
　　当別グリーンツーリズム協議会 事務局、当別高校 地域コーディネーター　他

その他、2021年より大学院にて経営の勉強中（修士課程）。

当別高ＣＬＡＳＳプロジェクトの概略図

北海道当別高等学校2022.01.31

【研究仮設】
生徒が自ら地域に触れ、地域の問題に目を向け、地域と連携、協働して課題を解決することにより、生徒自身が小さな達成感を積み重ね、生徒自身の自己肯定感を向上させることができる。この過程を通して、生徒自身が地域の発展に寄与していることを感じることで、主体的に問題を発見する力、課題を解決する力を育み、地域への課題意識や貢献意識を高め、当別町ならではの新しい価値を創造する持続可能な地域づくりの担い手を育成することができる。

当別独自の持続可能な地域づくりの担い手の育成

System

地域コーディネーター
プロジェクト推進チーム
当別高校担当教員
当別町教委社教主事

- プロジェクトの会議の開催（毎月）

Collaboration

当別高魅力向上コンソーシアム
町　ＪＡ　商工会　観光
振興局　医療大学　当別中　西当別中

- 地域青年層を中心とした構成
- 学校のニーズに合わせた柔軟な対応

Literacy

当別高生

地域住民と協働したプロジェクトの企画・運営
- 地域課題の解決

当別町の課題を発見し、解決策を提案

当別町への興味・関心の醸成

自己実現と地域社会への貢献を見据えたキャリア選択

地域づくりへの主体的な参加・参画

Adult

地域住民

高校生と協働したプロジェクトを企画・運営
- 地域課題の解決

高校生の支援を通した当別町の課題の発見

当別高校への興味・関心の醸成

Studen

３年目
- 「総合的な探究の時間」を軸とした当別町と当別高校の持続的な連携・協働体制の確立

２年目
- 「当別TANKYUプラン(仮称)」の本格導入
- コーディネーター機能を活用し、地域資源(人・もの)を活かした実践

１年目
- プロジェクトチーム、コンソーシアムの立ち上げ・当別高に対する意識調査
- 「総合的な探究の時間」カリキュラムの検討[当別TANKYUプラン(仮称)]
  - 地域課題探求型キャリア教育の構築

【現状】
- 当別高校について地域と学校との間に認識のズレがあることも影響し、地元からの入学者が少ない。
- 仙台藩岩出山領からの入植などの歴史や当別町出身の作家の文学作品等、当別町の資源をカリキュラムに活用し切れていない。
- ３学科を有する当別高校の特色がカリキュラムに十分に活かされていない。

ふるさと当別に心が向く教育活動の推進

地域愛　人間愛　母校愛

【当別高校が目指す生徒像】
- ◻ 他者を尊敬できる人－創造力のある人
- ◻ 新たなことへ挑戦できる人－深く学ぶことができる人
- ◻ コミュニケーションができる人－課題を発見し解決できる人